

あおもり市議会だより

ぎかいの森

平成29年第3回定例会の内容を
よりわかりやすく 市民の皆さんにお伝えします

Vol. 3

平成29年11月

特 集

除排雪する人

in あおもり

目 次

特集	P 2
可決された主な議案	P 4
こんなことを聞きました。	P 6
トピックス	P 16

特

集

除排雪する人

in あおもり

今回の特集は除排雪する人がテーマ。除排雪は、世界でも有数の豪雪都市である青森市にとっては毎年避けて通れない課題であり、多くの市民の皆様にとっても関心の高いことではないかと思います。大雪が降った朝でも除雪作業が済んでいる裏には、深夜、除排雪作業に携わる方々の目に見えない努力があります。そこで、市内で除排雪の作業に実際に携わっている方4名に集まっていたいただき、除排雪作業の実態、現状における課題や悩み、市民へのお願いや行政に言いたいことなど、現場の生の声を取材しました。

〈除排雪の仕事で今一番困っていることは？〉

〔業者〕

年々除排雪に関わる人を確保するのが厳しくなっています。高齢化もありますし、若い人が入ってこない。限られた人員でやらないといけないので、1人当たりの労働時間がふえるといった問題もあります。100時間を超えると過労死の問題も出てきますし、労働基準監督署の指導もあります。

〔議員〕

社内では80時間の規定でやっているんですけど、全然厳しいです。

自然が相手ですからね。予定がたたない部分もありますよね。安全の確保も大変じゃないですか。

〔業者〕

最近では市民がシヨベルや飲酒運転のダンプにひかれる事故もあり、安全管理にはどこもさらに気を遣うようになっていきます。一斉排雪となると誘導員の確保もままならないです。

〈市民の方にお願ひなどはありますか？〉

〔業者〕

出し雪ですね。作業時間もかかってしまいますし、何よりも危ない。あと機械でやるので、どうしても寄せ雪も出てきます。ローダーなどで片づけるんですが限界もあります。

Let's
座談会



【議員】

全部きれいにするのは難しいですよね。それは自分たちでできるところはお願いするしかないですよね。

【業者】

そうですね。寄せ雪も最小限になるよう気を遣ってはいるんですけど。

〈行政に言いたいことは〉

【業者】

難しいのはわかるのですが、シーズンの降り始めはもっと早く指令を出してほしいです。道幅も相当狭くなって、厚く固まってきた圧雪になると、剥がすのにも時間がかかりますし、雪捨て場も混み合って、かえって長く時間がかかっちゃうんですよ。

【議員】

雪の状況もリアルタイムで予想

できるから、できると思うんですけどね。

【業者】

あと今、除排雪はもうやらないうっていう業者も出てきています。メリットが薄くなっているという言い方もおかしいですが…。

【議員】

仕事として理想論だけではいかないですからね。

【業者】

そうですね。弘前市さんで平成28年から除雪と道路の維持管理を通年でセットにして発注しています。大手ではなく小さい会社も頑張っている中で、今まで参加している業者が未永くやっていくのが大事かと。通年型があれば違った方向性も見えてくるのかなと。

【議員】

市としても町を継続的に維持するために必要なことを、今以上に

【業者】

皆さんと考える必要がありますね。そうですね。私たちもスムーズな除排雪で市民の皆さんに喜ばれるようにしていきたいですね。



座談会を終えた参加者の皆さんと取材した議会広報広聴特別委員会委員。左から新栄建設株式会社の坂本さん、株式会社木村建設の秋村さん、竹山委員、渡部委員長、山脇委員、企業組合青森県中高年雇用福祉事業団の鈴木さん、株式会社西田組の小館さん。

青森市議会で

可決された主な議案です。

●平成29年第3回定例会

会期34日間 8月31日～10月3日

●第3回定例会で可決等された

議案・請願

市長提出議案34件中……………34件

(可決27件、認定3件、可決

及び認定1件、同意3件)

議員提出議案7件中……………3件

(可決)

請願4件中……………3件

(採択)

■以上の中から主なものをお知らせいたします。なお、全ての議案名と結果は、市議会ホームページでご覧いただくか、議会事務局へお問い合わせください。

その1

アウガに関連する債権の一部を放棄します

青森駅前再開発ビル株式会社は、平成27年度決算での債務超過の発生等を踏まえ、平成29年3月をもって解散しました。

市では、アウガへ市役所庁舎機能を配置するという方針のもと、同社の清算手続を進めるため、今期定例会において、市の同社に対する貸付金を初めとする債権、約17億5千万円を放棄する議案を提出しました。

議会においてはさまざまな議論がなされたものの、当議案は最終日、全会一致で原案のとおり可決されました。

***特別清算とは…**解散した株式会社が適正な清算を行うため、裁判所の監督下で行われる清算手続のことで、破産と比べ簡易・迅速な手続を進められるのが特徴です。

その2

新市庁舎の整備が進められます

新市庁舎整備事業として、平成29年度から平成31年度までの3カ年、総事業費32億9千366万1千円が継続費として設定され、今年度は6億3千946万4千円が今期定例会で補正予算として追加計上されました。これにより、平成32年1月の供用開始に向け、整備が進められます。

また、アウガへの市役所庁舎機能の配置関連経費として、平成30年1月からの青森市つどいの広場「さんぽば」への「託児室」の新たな併設等に要する経費(619万9千円)や、総合窓口の開設に伴い必要となる備品等の経費(1千150万3千円)、日曜・祝日開設により追



改修後のアウガ1階の様子

加となる各業務システムの運用等の経費（2千73万1千円）なども追加計上されています。

なお、平成29年度一般会計補正予算は、採決の結果、賛成多数で原案のとおり可決され、その結果、青森市の平成29年度の一般会計の予算額は、次のとおりとなりました。

●平成29年度青森市一般会計補正

予算額 9億6千973万4千円

補正後の予算額

1千207億9千144万5千円

その3

平成28年度決算が

認定されました

平成28年度青森市一般会計決算については、歳入が前年度から1%減の1千191億4千785万9千円、歳出が前年度から0.7%減の1千166億5千755万9千円となり、次年度への繰越財源を除いた実質収支額は23億477万9千714円となり、採決の結果、賛成多数で認定されました。

その4

奥内支所が新たに整備され
移転します

そのほか、平成28年度の各特別会計決算及び病院事業、水道事業、自動車運送事業の各企業会計決算についても、原案のとおり全会一致で認定*されました。
*水道事業会計は可決及び認定

●青森市役所支所設置条例の一部を
改正する条例の制定について

市では、老朽化した施設について、可能な限り周辺公共施設との複合機能化を図り整備することとしており、このたび奥内支所が北部地区農村環境改善センター敷地内へ整備されたことから、奥内支所の位置を変更するための条例の改正案が提案され、同条例は全会一致で原案のとおり可決されました。



新しくなった奥内支所

その5

契約議案を議決しました

青森市議会では、条例により予定価格1億5千万円以上の工事等に係る契約について、地方自治法に定める議決を行うことになって
います。

平成29年第3回定例会では、2件の契約について審議し、全会

一致で可決しましたので、その内容を紹介します。

蜷貝ポンプ場

受変電設備改

築工事

契約金額 1億7千820万円

富田ポンプ場No.2雨水ポンプ機械工

事

契約金額 3億1千776万9千714円



雨水ポンプ設備のイメージ

質
問
・
質
疑

こんなことを
聞きました。

第3回定例会において行われた、一般質問、予算特別委員会及び決算特別委員会の質疑の中から、一議員につき一項目の質問・質疑及び答弁の要旨を掲載しています。

●質問・質疑を行った議員・委員数

●第3回定例会

一般質問	19名
予算特別委員会	17名
決算特別委員会	14名

※本会議での一般質問等の様子は、下のQRコードからアクセスできる議会議中継でご覧いただけます。



まちづくり



まちづくり基本条例の
市民への周知について

自由民主党 長谷川 章悦
はせがわ じょうえつ

Q 平成28年4月1日から施行されたまちづくり基本条例を市民に定着させていくことが課題だと思いますが、これまでの市民への周知と、今後はどのように周知していくのかを伺います。

A 市では、同条例を市民へ周知し、条例の趣旨の浸透に向け、平成28年度は「広報あおもり」への条例の制定趣旨、基本理念等の掲載、市ホームページでの逐条解説等の掲載に加え、市民活動団体へのチラシ配付等を行ったところであり、今後も市ホームページや出前講座等により、周知を図ってまいります。

平和行政



平和大使事業の
復活について

日本共産党 藤原 浩平
ふじわら こうへい

Q 市が平和大使事業を廃止したことに対し、さきの6月定例会で市民から「平和大使事業の復活を求める請願」が提出され、採択されました。市は、これに応えて事業を復活させるべきと思いますが、考えを示してください。

A 市では、この請願の採択を踏まえ検討したところ、東北においてさきの大戦で被害を受け、また東日本大震災で甚大な被害を受けた都市があることを踏まえ、中学生をそれらの地域へ派遣することにより平和のとうとさと防災対策の大切さを学ぶ平和・防災学習事業として実施したいと考えています。

青色は、総務企画常任委員会に関連する質問・質疑です。

まちづくり



A 市では、アウガへの市役所機能移転後においても、土日・祝日の開館、アウガ正面入り口付近に市民がくつろげるスペースとして活用可能な場所を確保すること、2階の新町通り側に青森市つどいの広場「さんぽぽ」を配置し、窓口来訪者向け託児室を併設することなどにより、アウガが中心市街地のにぎわいに資するものと考えます。

Q アウガへの市役所の窓口機能移転に伴い、アウガは今後どのような形で中心市街地のにぎわいづくりにかかわるのかお伺いします。



アウガ周辺の
にぎわいづくりについて

市民クラブ 工藤 健

庁舎

新市庁舎建設工事は、平成30年1月から平成31年10月までの約22カ月間で行われ、仮囲い等の設置、支障物の移設や撤去、くい工事等を経て、本体工事に着手する予定です。その後、引っ越しを経て平成32年1月の供用開始を予定しています。なお、工事期間中は建設場所となる現市役所前駐車場は利用できなくなるため、その運用方法について検討しています。

新市庁舎パースイメージ



Q 新市庁舎建設工事のスケジュールと、工事期間中の現庁舎の駐車場はどうなるのか伺います。



新市庁舎建設工事の
スケジュール等について

市民クラブ 竹山 美虎

防災

A 市では、災害発生時の飲料水の確保について、水道部による応急給水や協定を結んでいる民間事業者等からの飲料水の供給を想定していますが、その備蓄のあり方については、検討を続けてまいります。



Q 避難所の備蓄食料には粉ミルクはありますが、水がないようです。ミルクや薬を飲む人、脱水症状になりやすい高齢者のことなどを考え、給水車等による飲料水の提供を待つのではなく一定量の水を備蓄すべきと考えます。最悪のケースを想定して迅速な対応を求めますが、市の見解をお示しください。



災害時の飲料水の
備蓄について

無所属 橋本 尚美

防 災



原子力災害時の 要援護者の避難について

社民党 藤田 誠
ふじた まこと

Q 原子力災害時における本市の避難者を受け入れる体制は、まだできていないと感じていますが、発達障害者、知的障害者等の要援護者の避難に当たり、課題等がありましたらお示しください。

A 市では、原子力災害時の要援護者の避難時の対応については、避難所に要配慮者として一般避難者とは別のスペースを確保するなど配慮を行いますが、避難所での生活が困難な場合は、県の原子力災害に係る避難先施設登録制度に登録している医療機関等へ受け入れを要請することとしています。

消 防



消防団員への 出勤報酬について

日本共産党 天内 慎也
あまのい しんや

Q 地域の高齢化、過疎化が進んでいる中、住民がすぐそばにいる顔なじみの消防団員に助けを求めることが今後ふえてくると考えます。消防団員が自主的に救助活動した場合に出勤報酬は支給されるのか、市の見解をお示しください。

A 青森市消防団の設置及び定員等に関する条例において、消防団員は、招集を受けない場合であっても、災害を知ったとき直ちに出勤し、服務しなくてはならないため、地域住民からの直接の出勤要請により災害活動をした場合であっても、出勤報酬の対象となります。

市民生活



お盆の八甲田霊園での 通行規制について

自民清風会 館山 善也
たかやま よしや

Q お盆の8月13日に月見野霊園、三内霊園と同様に八甲田霊園でも利用者混雑解消のための通行規制をするべきと考えますが、市の考えをお示しください。

A 市では、八甲田霊園は三内・月見野霊園に比べ遺骨を埋葬している区画数が少ないことから、これまで通行規制は実施していませんでしたが、年々遺骨の埋葬区画数が増加してきており、8月13日には一部の時間帯で墓参者が集中し、混雑する状況も見受けられてきているため、混雑緩和のための対策について検討していきます。

男女共同参画

A 市では、平成29年4月の青森市男女共同参画社会の形成の促進に関する条例検討委員会からの答申を受け、これまで条例案の検討作業を行ってきました。今後、男女共同参画に関する先進都市である倉敷市を訪問し、同市の取り組みを伺うこととしており、本視察も踏まえて整理した上で、平成30年第1回定例会への条例案の提出を目指してまいりたいと考えています。

Q 「青森市における男女共同参画社会の形成を総合的かつ計画的に促進するための条例」の施行に向けたスケジュールを示してください。



社民党 仲谷 良子
なかや まゆこ

男女共同参画社会の
形成について

アウガ問題

A 御指摘のとおり、同備品が国と市の財産処分の承認前に別の事業者に譲渡されていたため、市では清算人及び同事業者に対し速やかに元に戻すよう求め、5月16日に同備品が戻っていることを国の職員と確認したものです。

Q 補助金で取得したアウガ1階スイーツコーナーにあった備品の処分に当たり、市は平成29年5月16日に国と実物を確認したとのことですが、5月2日に市の許可を得て私が1階を確認した際にはこの備品はなく、つじつまが合いませんが、市の見解をお示しく下さい。



新政無所属の会 中村 美津緒
なかむら なみつお

国等の補助金で取得した
備品の処分について

アウガ問題

A 市がこの什器備品の持ち出しの経緯を確認したところ、この者は平成29年4月10日ごろに搬出したと思うとのことであり、無断で持ち出された経緯等を考えると、今後、告発に向けた手続等の対応を進めてまいりたいと考えています。

Q 国と市の補助金交付を受けた什器備品について、市の許可なく運搬し、市の指示で一度戻した備品を翌日にまた持ち出していった者、また多額のテナント料を滞納していた者が同じ者であった点を考えると、法的措置をとる必要があると思いますが、市の見解を求めます。



日本共産党 山脇 智
やまのけ さとし

補助金交付を受けた什器
備品を巡る対応について



持ち出された什器備品が写っている
写真(H29.3.22時点)

雇用



精神障害者の 雇用促進について

日本共産党
館田 瑠美子
たかた るみこ

Q 障害者の雇用の促進等に関する法律の改正により、平成30年4月から精神障害者が法定雇用率に含まれることとなりますが、精神障害者の働く場がふえるとは言えないのが実態だと思えます。本市における精神障害者の雇用促進のための対策についてお示しください。

A 市では、市内民間企業の障害者雇用率向上のため、障害者の短期職場実習への支援制度の創設や企業の採用担当者等へのセミナー等を実施しています。今後においても、障害者雇用の啓発や同法改正の周知に努めてまいります。

教育



学び直し講座について

公明党
渡部 伸広
わたなべ のぶひろ

Q 小学校、中学校を未修了となっている方を対象に、ことし教育委員会が行っている学び直し講座の概要をお示しください。

A 同講座は、学齢期に十分な学習機会が得られなかった方などへの学び直しの機会として実施したものです。受講者からは、「終戦を迎えたころは勉強ができる状況ではなく、もう一度勉強したいという希望が届いた」、「何回でも参加したいと思うほどわくわくした」といった感想が寄せられ、学び直しに対する市民ニーズを把握する機会となったものと考えています。



教育



子ども会の活用と 実態について

社民党
斎藤 憲雄
さいとう のりお

Q 地域コミュニティの推進に当たっては、町会役員の高齢化が進み、限界が出てくると思います。町会で子ども会を活用するなどし、町会内で世代間交流を図ることが必要と考えますが、本市の子ども会の実態についてお示しください。

A 本市の子ども会の数は、少子化の影響等により年々減少傾向にありますが、教育委員会では、子ども会の相互連携と育成を担う市子ども会育成連絡協議会への補助金の交付や、同協議会との意見交換等を通じ、子ども会の活動が充実したものとなるよう努めています。

教育

A 市の平成29年度の当該補助金の予算は、東北・全国中学校体育大会夏季大会への選手派遣に対し55万5千円、全国高等学校野球選手権大会等への出場経費に対し150万円、市町村対抗県民体育大会への選手派遣・強化事業に対し408万7千円、計1千109万2千円となっております。市では、これら補助金の交付を通じ、引き続き競技力の向上とスポーツ振興を図ってまいります。

Q 市がスポーツ団体等へ行っている選手の派遣や強化のための補助金について、その内容と平成29年度の予算をお示しください。



スポーツ団体等に対する
補助金について

自由民主党 中田 靖人
なかつた やすひろ

教育

A 八戸市では、同システムの導入により教職員の勤務時間が1日約1時間半短縮できたと伺っており、市教育委員会としても、教職員の事務作業の効率化、平準化はもとより、学習指導や生徒指導への活用など、業務改善の面で大きなメリットがあると考えています。

Q 平成29年8月の中央教育審議会による学校における働き方改革に係る緊急提言において、校務支援システムの導入促進が挙げられ、学校現場への導入が必要と考えますが、これによりどのような改善が図られるのかお知らせください。



学校現場への校務支援
システムの導入について

自由民主党 山本 武朝
やまもと たけとし

教育

A 教育委員会では、本市のがん死亡率が高いことから、学校でのがん教育の充実は重要と考えており、教員の指導力向上のための研修講座の開催、専門医やがん経験者等の外部講師の人材発掘、学校保健安全推進校による実践的研究等の取り組みにより、学校でのがん教育の充実に努めてまいります。

Q 文部科学省は、子どもたちががんとかん患者に対する正しい知識を持てるよう、がん教育の全国展開を目指していますが、本市では小・中学校でのがん教育をどのように進めていくのかお知らせください。



小・中学校における
がん教育について

自由民主党 軽米 智雅子
かろまい ちかこ

教育



中央教育審議会の緊急提
言に対する対応について

市民クラブ 秋村 光男
あきむら みつお

Q 教職員の長時間勤務の改善に向け、平成29年8月29日に出された中教審の緊急提言にある学校現場へのタイムカードの導入、部活動の休養日の設定について、教育委員会
の考えをお示しく下さい。

A 本市では、教職員の長時間労働の解消のため、校長が校内巡回等を通して勤務時間の実態把握に努めているほか、部活動の休養日も児童・生徒や指導者に負担とならないよう設定していますが、今回の緊急提言を受け、国、県、他市の動向を注視し、実効性のある対策について検討してまいります。

都市整備



野木和公園の魅力向上に
向けた取り組みについて

自民清風会 渋谷 勲
しげたか ぶん

Q 野木和公園をもっと魅力ある公園にするための取り組みについて、市の考えを示してください。

A 野木和公園は、本市の豊かな自然を実感できる公園であり、市内でも有数の桜の名所となっています。野木和公園のさらなる魅力向上のため、公園施設を管理する指定管理者の自主事業として、桜の時期に青森春まつりを開催しており、多くの家族連れなどにぎわっています。市では、引き続き指定管理者と連携し適切な公園管理を行うとともに、その魅力向上に努めてまいります。

除排雪



凍結防止剤の散布ルート
の見直しについて

日本共産党 葛西 育弘
かさい いくひろ

Q 平成28年第3回定例会一般質問において、市の凍結防止剤の散布ルートが重複していることから、効率的な走行ルートの検証のためGPS端末の散布車への導入を提案しましたが、その検証結果と削減されるコストをお示しく下さい。

A 市では、昨冬にGPS端末を散布車に搭載し、各車両の位置情報等から散布ルートの重複部分を確認しました。このため今年度、より効率的な散布ルートの選定等を検討しており、これにより作業時間が短縮され、除排雪経費が約300万円削減されると試算しています。

橙色は、都市建設常任委員会に関連する質問・質疑です。

交通

A 国土交通省に確認したところ、国道沿いの歩道には電力・通信系に係る共同溝が埋設されていることから、市がみずからの責任において、基礎工事が必要なバス待合所の設置を行うことは現状では難しいですが、今後も国土交通省との協議を通じ、バス待合所の設置に向けた前向きな提案が得られるよう、鋭意努力してまいります。

Q 堤橋から国道の東方面はバス利用者が多いにもかかわらず、屋根つきのバス待合所が少ないのが実情ですが、同待合所の設置について、市の考えをお示しくください。



バス待合所の

設置について

公明党

赤木

長義

ごみ処理

市民の皆様
の御理解と
御協力に深
く感謝いた
します。



A 平成28年度の可燃ごみの排出状況は、青森地区では8万1千878トンで、前年度と比較して5千732トンの減少、浪岡地区・広域町村も含めた合計では9万795トンで、5千860トンの減少となりました。また、青森地区では同年度の可燃ごみ減量目標である4千200トンを上回る5千732トンの減量を達成できました。

Q 平成28年4月から青森地区において指定ごみ袋制が導入されましたが、平成28年度におけるごみ減量化の進捗状況をお示しくください。



ごみ減量化の

進捗状況について

市民クラブ

木下

靖

下水道

A 新城地区の整備につきましては、新城字平岡の木工団地、J R西高踏切、松丘保養園周辺地区を整備しており、今年度、新城字平岡の一部及び新城字福田の一部の整備に向けた調査、設計業務を行っております。今後は整備済みの区域に隣接した地区から実施していく予定です。県道津軽新城停車場油川線のJ R津軽新城駅とわらじ亭を結ぶ区間については道路拡幅計画があるため、県との調整を図りながら整備を進めてまいります。

Q 新城地区の現在の下水道整備の進捗状況をお知らせください。



新城地区の下水道整備の

進捗状況について

自民清風会

木戸

喜美男

赤色は、民生環境常任委員会に関連する質問・質疑です。

福祉



薬物依存者リハビリ施設 への対応について

新政無所属の会 奥谷 進おくや ますむ

Q 薬物依存者リハビリ施設が平成29年8月、小橋地区に開設され、地域住民は大きな不安を抱えていることから、月2回程度の行政による施設訪問も必要だと思えます。市として今後どのように対応していくのかお示しください。

A 同施設については市の許認可・指定等が不要であり、市や県の指導権限等はありませんが、地域住民の不安が解消されるよう、地域住民及び開設者である特定非営利活動法人仙台ダルク・グループの3者間で、十分な話し合いをしていきたいと考えています。

福祉



生活保護受給者への火災 保険料の支給について

日本共産党 村川 みどりむらかわ みどり

Q 民間賃貸借住宅に居住している生活保護受給者に対し、市が火災保険料を適正に支給していないことが明らかになりました。その原因と対応策を示すとともに実態調査を行うべきと思いますが、市の考えを示してください。

A 今回の事例は、火災保険料が支給対象であることの周知・説明や、ケースワーカー等によるチェックが不十分だったことが原因と認識しています。今後は対象者への周知とチェックの徹底を図るとともに、その支給状況について確認の上、適切に対応してまいります。

福祉



生活保護の廃止世帯数と 自立世帯数について

市民クラブ 奈良 祥孝なら しょうこう

Q 平成28年度における生活保護の廃止世帯数のうち、就労により自立した世帯数をお示しください。

A 平成28年度の本市の生活保護廃止世帯数は529世帯で、そのうち就労や稼働収入の増加により自立した世帯数は64世帯で約12%でした。市では、ハローワークと連携し就労前から就労後まで一貫した支援を行う職業安定所連携就労支援事業や、市の就労支援相談員による被保護者の状況に応じた就労支援事業等を実施しており、今後とも被保護者の自立に向けた就労支援の強化に取り組んでまいります。

健康づくり

A 市では、受動喫煙防止対策を喫緊の課題と捉え、平成25年12月に青森市たばこの健康被害防止対策ガイドラインを策定しました。今年度からはたばこ対策を重点課題の一つと捉え、受動喫煙防止対策も含め、市民総ぐるみの健康づくり運動を強力に推進しています。

Q 受動喫煙によって年間1万5千人が死亡していると厚生労働省は推計しており、その半数が職場での受動喫煙と言われています。受動喫煙の問題は本当に深刻で、急ぎ取り組むべき課題だと考えますが、市の考えをお聞かせください。



新政無所属の会

奈良岡

隆

受動喫煙防止対策

について

健康づくり

A 健康度測定を受けることなく、自身の健康維持のため、自由に運動機器を利用したいという声があることは承知しており、運動機器使用の自由度を高めるような環境づくりについても、さまざまな観点から検討してまいります。

Q 西部市民センターの運動機器を使用するには、毎年、有料の健康度測定の受診が必須となっています。身近な施設で自由に運動機器を使用したいという市民の要望を踏まえ、使用の自由度を高めるといった制度変更をするべきと考えますが、市の考えを示してください。



自民清風会

小豆畑

緑

西部市民センターでの運動機器の使用について

議会を傍聴しませんか？

平成29年第3回定例会の傍聴者数は**49人**でした。議会はどなたでも傍聴できますので、当日、議会棟1階「傍聴者入口」の受付で、傍聴券に住所・氏名・年齢を記入し、入場してください。また、市議会ホームページでは本会議の生中継と録画映像の配信をしています。詳しくは議会事務局までお問い合わせください。



点字版・テープ版・CD版も発行しています

市議会では、視覚障がいのある方のための市議会だよりとして、点字版を発行しています。また、音声による市議会だよりとしてテープ版・CD版（デイジー形式）も発行しています。

市内にお住まいで、視覚障害の等級が1級または2級の方に送付いたしますので、御希望の方は議会事務局までお問い合わせください。

市議会だより



議会事務局：017-734-5743

アウガ問題調査特別委員会の 中間報告が行われました

平成29年7月11日に地方自治法第100条第1項及び同法第98条第1項の調査権限を付与され設置された同委員会は、第3回定例会閉会までに計8回開催され、関係者から提出された記録等の資料の検査など、これまで行った調査の結果について、同定例会閉会日に中間報告書として提出しました。

この中間報告書では、あおもり「食」街道めぐり事業及び青森市「食」街道めぐり事業に係る工事については、当該事業の補助金交付決定日以前に事前着工があったと判断せざるを得ないこと、また、ヤマト運輸株式会社の出店に伴う工事におけるスプリンクラーの移設・増設工事については、スプリンクラー工事が行われなかった可能性が極めて高いと判断したとの報告がなされました。

同委員会では引き続き、疑義の残る事項について、必要に応じ参考人招致や証人喚問などを行い、調査を行うこととしています。



アウガ問題調査特別委員会

同委員会の会議概要は市議会ホームページで公開しています。

なお、市議会ホームページでは、同委員会の会議概要のほか、平成28年度以降に開催された委員会について、付託議案等の審査を行った部分の会議概要をPDF形式で公開しておりますので、ぜひごらんください。

青森市議会

検索

大学生と

議員とカダる会 (議会報告会・意見交換会) を 11月19日(日)に開催します

日時：平成29年11月19日(日)
10:00~12:00

場所：青森県立保健大学小講義室A110
青森大学6号館622教室
(2カ所同時開催)

対象：市内に在住する大学生

※ 今回は、大学生を対象とします。参加を希望される方は、当日、御都合のよい会場へ直接お越しください。

お問い合わせ：議会事務局議事調査課
電話 017-734-5743

内容：平成29年第3回定例会の報告

- ①アウガに関する債権放棄について
 - ②新市庁舎の整備について
- ワールドカフェ
テーマ：学生から見た青森市
自由意見交換



議員とカダる会 (アピオあおもり)

編集後記

副委員長 中村美津緒

リニューアルした「ぎかいの森」の3回目です。今後も新しい感性で、特集記事の取材等を行い、この「ぎかいの森」を通じて市民の皆さんに議会を身近に感じていただけるように委員一同頑張りますので、これからもよろしくお祈りします。また、御意見等がありましたら気軽にお寄せください。